

登録コード	TSX04500	開講年度	2026				
授業科目	建築意匠設計インターンシップ					担当教員	寺内 美紀子 他
英文授業名	Architectural Design Internship					副担当	羽藤 広輔・佐倉 弘祐
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	建築学分野修士１・２年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					・建築設計事務所などでの学外実習を通して、環境調和社会、知識基盤社会を多様に支える建築意匠分野の高度な専門知識と実践的技術力を身につけることができる。	
(2)授業の概要	学外で技術を実践していく上で社会人としての最低限のマナーを習得する。更に設計事務所及びその作業内容の具体的な内容を実感として学びとる。具体的には設計事務所の役割、倫理観、法対応、クライアント対応、設計図面の作り方、設計の進展のさせ方、等である。						
(3)授業計画	インターンシップ担当事務所に下記の内容の中から2つ程度までは習得できるように関連作業への従事をお願いする。 1 日目（8 時間）：設計事務所と法的対応を習得する上で確認申請作業の書類作り 2 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な書類作り【コンセプトの整理】 3 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【基本構想のエスキス】 4 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【ショードロー図面の作成】 5 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【基本構想（平面図、配置図）のエスキス】 6 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【基本構想（断面図、立面図）のエスキス】 7 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【基本構想のまとめ】 8 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り【基本構想に関する趣旨のまとめ】 9 日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な図面作り 【基本構想のプレゼンテーションのためのスライド作成】 10日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な模型作り【敷地形状に関する模型作製】 11日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な模型作り【基本設計にもとづく模型作製（部材のきりとり）】 12日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な模型作り【基本設計にもとづく模型作製（部材のくみため）】 13日目（8 時間）：設計事務所とクライアント対応を習得する上で、クライアント打ち合わせに必要な模型作り【基本設計にもとづく模型作製（彩色と点景）】 14日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、基本設計図書に必要な図版、文章、写真、模型、及びそれらの【レイアウト、冊子作り】 15日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、基本設計図の作成 【位置図、平面図】 16日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、基本設計図の作成 【梁行断面図、桁行断面図、立面図】 17日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、実施設計図の作成 【展開図】 18日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、実施設計図の作成 【屋根伏図】 19日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、実施設計図の作成 【床伏図】 20日目（8 時間）：設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、実施設計図の作成 【特記仕様書】						
(4)成績評価の方法	事務所の担当者から仕事を提示してもらいその作業状態を定性的（制作物の丁寧度、意匠性、完成度）、定量的（制作速度、制作量、出欠）に判断し評価いただく。その結果を踏まえ、実習終了後の報告をもとに評価する。 作業状態の判断（実績簿に評価をいただく / 5 段階評価）50% 実習終了後の報告会での発表：50%						
(5)成績評価の基準	160時間実習を満たすことを合格水準とし、作業状態の判断（ 実績簿評価）および報告書としての体裁の良さ、報告内容の具体性（設計事務所の業務に関する理解度）、今後の修士論文・修士制作への展開方法を評価して（ 報告会の発表）、両者を総合し、全て揃っていれば「卓越している」、ど2項目以上揃う場合は「かなり上にある」、1項目なら「やや上にある」と評価する。						
(6)事前事後学習の内容	通年で160時間の実習を満たすこと、実習内容をレポート形式にまとめ担当教員に報告すること、の2種の学習時間を設定する。						

(7)履修上の注意	特になし。
(8)質問,相談への 対応	随時、受け付ける。 寺内：terauchi@shinshu-u.ac.jp 羽藤：khato@shinshu-u.ac.jp 佐倉：kosuke_sakura@shinshu-u.ac.jp
(9)その他	
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない